

今年の遠征は、大雪山トムラウシ山縦走を計画しました。しかし、大気の状態が不安定な日が続いているため、やる気を無くした・・・ということで、大雪山トムラウシ山縦走は不完全燃焼に終わりました。旭川市内にレンタカーを借りて、二百名山のニペツツ山と芦別岳に登頂してきました。

6月18日 ニペツツ山 標高2,013m 晴のち曇り コース標準タイム14時間 往復25km

4時半に幌加温泉の登山口からスタート。前夜の雷雨がすごかったが、朝は穏やかな空だった。コースは片道12.5キロのロングコース。林道を歩いてから1時間くらい、林道終点に駐車場があった。でも林道は凸凹があって地上高の高い4WD車でないとは通れない。林道終点から登山道に変わる。でも平らな道だったので楽だが、泥が多くて歩きにくかった。ひたすら樹林帯を登っていく。スタートしてから4時間後にやっと展望が開ける。初めてニペツツ山の姿が見えた。でも、まだまだ遠く感じるくらい距離だった。前天狗岳まで一部に雪渓が残っていてアイゼンなしで慎重に登る。稜線を出ると、ニペツツ山はもちろん、大雪山、トムラウシ山、石狩岳はガスの中で見えなかったけど、360度くらい見渡せた。天狗平は岩と高原が広がって、テントが1張あった。キバナシャクナゲの花が咲いていた。ニペツツ山の尖っている姿はまさに一級品でカッコ良かった。前天狗岳から下って天狗岳に登ってまた下って最後のニペツツ山に登り返して、体力を消耗していた。最後の登り返して、ずっしりと大きく鋭く立ちのぼるニペツツ山を見て愕然とした記憶だけははっきりと残ってる。登山口スタートから7時間かかって、11時半にニペツツ山頂上に登頂した。ガスで展望なし。トムラウシ山が見れなくて残念だが、充実感と達成感があった。小休止の後、往路と同じコースで下山開始。天狗岳と前天狗岳にアップダウンを繰り返す。精神的にきつかった。雪渓にゆっくり下って、長い樹林道と長い林道が待ってる。駐車場に16時半着。往復で12時間かかった。皇海山クラシックルート以来、久々のロングトレイルを歩き通したことに深い感慨を覚えた。



6月19日 芦別岳 標高1,726m 曇り コース標準タイム8時間

この日は石狩岳に登山する予定で、登山口を目指して出発したが、国道から林道に入るところにゲートが閉ざされていた。17日に石狩岳登山口を下見するときゲートがオープンしたままになっていたけど、当日にゲートのそばにレッカートラックが置かれていた。もしかしたら林道の途中で何かトラブルで道が通れなくなったのではないかと不安がよぎる。結局、石狩岳登山はあらかじめ芦別岳に変更した。3時間かかって7時半に芦別岳登山口に着いた。登山の準備をしてすぐに出発した。新道、旧道コースの二本の登山道があるが、今回は新道コースで往復する。コース前半は道が広くて緩い登りで歩きやすく、後半は半面山と雲峰山2つのピークを乗り越えて頂上までに登る。昨日のニペツツ山に登った疲れや筋肉痛もあって、ゆっくりとしたペースで、芦別岳頂上に登頂できた。ガスに覆われて、周りの展望がないが、山頂から見下すと、薄緑の田んぼがパッチワークのように広がっているのが見えた。下山後、富良野と美瑛へ観光に行って、翌日に旭川市内の博物館を見学した。老舗の青葉ラーメンも食った。美味しかった。夕方に千歳空港から帰阪。